

最高の感動。

だいじょうぶ。
転んだって、
いいんだよ。

アンダンテ

～稲の旋律～
Andante

新妻聖子 寛 利夫 秋本奈緒美 宇津宮雅代 村野武範
上田耕一 正司照枝 三上真史 紗綾 中条きよし(友情出演) 松方弘樹

それぞれの生き方の中で、転機に立つ現代人の葛藤と再生を描く、最大の話題作!

原作: 旭川あかね 監修: 金田 敬 企画・製作: 桂 壮三郎 脚本: 山田 耕大 プロデューサー: 利倉 亮 江尻健司 音楽: 山谷知明 撮影: 志賀葉一 照明: 佐々木英二 録音: 山口 勉 美術: ケイプランニング 編集: 棚畑 寛
助監督: 江利川深夜 上野貴弘 キャスティング: 松永 琴 制作担当: 酒井織人 VE: 小澤進司 技術協力: パナソニック映像 製作: 映画「アンダンテ～稲の旋律～」製作委員会 制作プロダクション: (株)レジェント・ピクチャーズ 配給: ゴーゴビジュアル企画

映画「アンダンテ～稲の旋律～」製作委員会: (株) **ブルボン** ファーマーズマーケット ヴェルジェ (有) ゴーゴビジュアル企画

配給: 群馬共同映画社

助成: 文化芸術振興費補助金

推奨: 全国農業協同組合中央会 JAグループ千葉 制作支援: 千葉県横芝光町民の会

© 2010 映画「アンダンテ～稲の旋律～」製作委員会

食と農と大地、そして人間再生の物語!



新妻聖子 Nishimatsu Shizuka
(飯沼千華 元音楽教師志望の独身女性)



寛 利夫 Kaji Takuji
(広瀬晋平 千華の農業家)



秋本奈緒美 Akiyama Naomi
(堀川逸子 千華の元同僚)



松方弘樹 Matsukata Hiroki
(山原寛樹 晋平の師匠といふべき農業家)



宇津宮雅代 Utsunomiya Mari
(飯沼山田恵 千華の母親)



村野武範 Murano Takanori
(飯沼信昭 千華の父親)



三上真史 Miyama Misaki
(小林新 農業を目指す元会社員)



紗 綾 Saaya
(高山奈緒 晋平の娘)



中条きよし Nakasaki Yoshiko
(駅長 友情出演)

今、混沌とする時代に、心が洗われる映画が誕生した。

社会に摘要出来ず対人恐怖症と引きこもりから抜け出し、新たな自立の道を懸命に模索する主人公千華。そして厳しい農業の傍ら食と農業問題に独自の哲学を持ち土と共に生きる晋平。今日、登校拒否や引きこもりなど、心の病は現代日本の深刻な問題として見えてくる。本作の「アンダンテ」とは音楽用語で「歩く速度で、ゆっくり」とを意味し、原作者である旭爪あかねは、自らの引きこもり生活の体験を主人公千華に反映させている。

主人公の千華を演じるのは、「ミス・サイゴン」「レ・ミゼラブル」などの超大作ミュージカルで活躍する新妻聖子が映画初出演にして初主演で難しい役を熟演している。また千華を受け止め励まし再生へと導く農業家晋平には「踊る大捜査線」など、TV、映画、舞台などで幅広く活躍する名優・寛利夫が演じ作品に一層の深みを持たせている。また、松方弘樹、秋本奈緒美、宇津宮雅代、村野武範、中条きよしら豪華俳優陣が脇を固め作品を盛り上げている。撮影地は千葉県横芝光町。春から秋にかけて稲の生長とともに撮影を進めた。横芝光町の鮮やかな田園風景や農作物もまた本作品の主人公といえるだろう。

監督は映画界で最も期待されている新鋭の金田敏、脚本は「マリと子犬の物語」の山田耕大が執筆、企画・製作は映画「ガラスのうさぎ」の桂壮一郎が担当している。



「ロケ地」
千葉県
横芝光町

原作：旭爪 あかね Himotsune Akane

千華やかかつの自分とおなじように苦しんでいる人たちに、「悩んだり、苦しんでいるのはあなただけじゃないよ」と伝えたい、という気持ちで、この小説を書きました。泥から生まれる美しい稲の海が、銀幕一面に揺れている様子を想像します。そのなかを、ときには立ち止まったり後退もしながら、ゆっくりゆっくり歩きはじめる千華の心が、観てくださる方々の胸に届きますように。映画の完成を心待ちにしています。



曲がって植えようが、
転んで植えようが、
稲はまつすく
土を向いて
伸びるんだよ。



物語 映画の主人公「飯沼千華」は、母親の強い希望で幼い頃から音楽の道を歩むが、音楽社会の競争は厳しく次第に自信を失くしてゆく。やがて自分自身も見失い登校拒否となり、大学中退を余儀なくされる。大学中退後、アルバイト生活に入るが、職場での人間関係がうまく作れず、仕事を転々とする生活を繰り返し続ける。そしてとうとう、一日中家に閉じこもるようになり、日毎の両親とのいざこざも絶えなくなってしまう。そんな自分を思いつめた千華は、千葉県の水田へ、「誰か私を助けてください。」と書いた紙切れをペットボトルに詰め、「心のSOS」として置いてくる。暫くして、この水田の持ち主でありペットボトルを拾った広瀬晋平から手紙が届く。その手紙の内容は真剣に千華のSOSに応えようとしていた。千華は、自分はどういう人間か、どうして他人と会うのが怖いのか、長い長い手紙を晋平に送った。こうして始まった千華と晋平の交流は、千華のひきこもり生活を徐々に変化させていくのだが…!

アンダンテ
～稲の旋律～

108分・カラー・ヒスタビジョン作品 © 2010 映画「アンダンテ ～稲の旋律～」製作委員会

とき **9月26日** 月 ところ **高崎シティギャラリー・コアホール**

じかん	午前の部	午前10:30~12:20
	午後の部	午後 2:00~ 3:50
	夜の部	午後 6:30~ 8:20

(開場は上映の30分前からになります)

前売券 ● 共通 **1,000円** (当日 1,300円)

主催/はるな生活協同組合

後援/高崎市・高崎市教育委員会

お問合せ/ 027-323-2762 (生協組合員活動部)